



# 平成29年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年6月9日

上場会社名 株式会社鳥貴族  
コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 平成29年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年7月期第3四半期の業績(平成28年8月1日～平成29年4月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第3四半期	21,367	21.8	985	7.3	966	5.9	661	14.1
28年7月期第3四半期	17,547	31.6	1,062	35.1	1,027	31.5	579	49.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第3四半期	57.12	
28年7月期第3四半期	50.84	49.93

(注)29年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年7月期第3四半期	13,429	6,027	44.9
28年7月期	12,477	5,542	44.4

(参考)自己資本 29年7月期第3四半期 6,027百万円 28年7月期 5,542百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期		2.00		4.00	6.00
29年7月期		4.00			
29年7月期(予想)				4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)28年7月期 期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 記念配当2円00銭

## 3. 平成29年7月期の業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,102	18.7	1,321	17.2	1,294	16.4	851	13.3	73.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成29年6月9日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年7月期3Q	11,622,300 株	28年7月期	11,583,300 株
期末自己株式数	29年7月期3Q	34,700 株	28年7月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	29年7月期3Q	11,577,540 株	28年7月期3Q	11,403,727 株

(注)当社は、当第2四半期会計期間より株式給付信託(BBT)を導入しており、純資産の部において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善は見られましたが、景況感に力強さが見られず家計消費支出額が低迷しており、為替の相場の乱高下、地政学的リスクなど、先行きの不透明感が強まっております。

外食業界におきましては、人件費関連コスト等の上昇に加え、天候不安による原材料価格の上昇、消費嗜好の多様化による動態変化、業種・業態を超えた企業間競争の激化により経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社では、中期経営目標を達成すべく重要施策に掲げていた「国産国消への挑戦」を10月のメニュー変更により達成しました。引き続き商品力のブラッシュアップと新規出店に取り組み、さらなるブランド力の強化に努めてまいります。また、様々な経済情勢の変動の中、280円（税抜）均一を維持すべく、生産性の向上を追求し、従来の品質・サービスを維持しつつも利益率の向上を目指し取り組んでまいりました。なお、当第3四半期累計期間は関東圏を中心に40店舗の新規出店を行い、11月には「鳥貴族」500店舗を達成し、当第3四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は529店舗（前事業年度末比37店舗純増）となりました。当社の直営店につきましては、当第3四半期累計期間は26店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末日においては310店舗（同25店舗純増）となりました。また、当四半期会計期間におきましては、タッチパネルによるセルフオーダーシステムの本格導入を開始し、当四半期会計期間末日現在、大型店・繁盛店等を中心に66店舗導入いたしております。

以上の結果、当第3四半期累計期間は、新規出店による店舗数の増加及び既存店売上高が好調に推移したこと等により、売上高は21,367,764千円（前年同期比21.8%増）となり、売上総利益は14,493,292千円（同20.5%増）となりました。販売費及び一般管理費は、店舗数拡大による増加のほか、会社設立30周年を迎え鳥貴族全店にて「Thanksキャンペーン」を実施したこと等により13,508,220千円（同23.2%増）となりました。以上により、営業利益は985,072千円（同7.3%減）、経常利益は966,845千円（同5.9%減）、四半期純利益は661,314千円（同14.1%増）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は13,429,797千円となり、前事業年度末と比較して952,673千円の増加となりました。これは主に新規出店に伴い有形固定資産及び差入保証金が増加したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債は7,402,446千円となり、前事業年度末と比較して467,542千円の増加となりました。これは主に新規出店のための資金調達として長期借入金が増加した一方、未払法人税等及び賞与引当金が支払いにより減少したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産は6,027,351千円となり、前事業年度末と比較して485,131千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が増加した一方、配当金の支払いにより減少したことによるものであり、自己資本比率は44.9%（前事業年度末は44.4%）となりました。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成28年9月9日付「平成28年7月期 決算短信」にて発表いたしました平成29年7月期（平成28年8月1日～平成29年7月31日）通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年6月9日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,727,971	3,599,048
売掛金	207,218	229,671
商品及び製品	104,372	108,480
原材料及び貯蔵品	18,978	23,048
その他	816,974	885,058
流動資産合計	4,875,514	4,845,308
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,993,005	5,521,747
その他（純額）	952,563	1,158,361
有形固定資産合計	5,945,568	6,680,109
無形固定資産	26,863	107,609
投資その他の資産		
差入保証金	1,277,856	1,406,040
その他	359,618	398,826
貸倒引当金	△8,296	△8,096
投資その他の資産合計	1,629,178	1,796,770
固定資産合計	7,601,609	8,584,488
資産合計	12,477,123	13,429,797
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	925,052	1,004,588
1年内返済予定の長期借入金	540,993	567,123
未払金	1,143,740	1,184,825
未払法人税等	314,818	158,835
賞与引当金	328,939	122,831
その他	1,236,638	1,022,784
流動負債合計	4,490,182	4,060,988
固定負債		
長期借入金	972,162	1,724,939
退職給付引当金	39,038	52,436
役員株式給付引当金	-	20,215
資産除去債務	736,948	816,461
その他	696,572	727,405
固定負債合計	2,444,720	3,341,457
負債合計	6,934,903	7,402,446
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,488,685	1,491,829
資本剰余金	1,478,685	1,481,829
利益剰余金	2,574,849	3,143,497
自己株式	-	△89,804
株主資本合計	5,542,220	6,027,351
純資産合計	5,542,220	6,027,351
負債純資産合計	12,477,123	13,429,797

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成27年8月1日 至平成28年4月30日）	当第3四半期累計期間 （自平成28年8月1日 至平成29年4月30日）
売上高	17,547,782	21,367,764
売上原価	5,521,775	6,874,472
売上総利益	12,026,007	14,493,292
販売費及び一般管理費	10,963,453	13,508,220
営業利益	1,062,554	985,072
営業外収益		
受取利息	291	95
保険解約返戻金	2,497	3,666
受取保険金	-	8,493
その他	8,166	17,461
営業外収益合計	10,955	29,718
営業外費用		
支払利息	30,336	30,809
支払手数料	12,679	12,734
その他	2,539	4,401
営業外費用合計	45,556	47,945
経常利益	1,027,952	966,845
特別利益		
固定資産売却益	6,754	12,537
移転補償金	-	69,938
特別利益合計	6,754	82,475
特別損失		
固定資産除却損	38,052	3,494
特別損失合計	38,052	3,494
税引前四半期純利益	996,655	1,045,825
法人税、住民税及び事業税	357,519	323,736
法人税等調整額	59,358	60,775
法人税等合計	416,877	384,511
四半期純利益	579,778	661,314

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

【セグメント情報】

- I 前第3四半期累計期間（自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日）  
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
  
- II 当第3四半期累計期間（自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日）  
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。